

中央公民館からのお知らせ

グループ登録団体 募集中!!

登録期間
令和8年4月1日から
令和10年3月31日まで

中央公民館を主な活動場所とするグループ登録団体が社会教育活動（学習・文化）を行うときは、無料で中央公民館を使用することができます。

なお、登録は次の条件を満たす団体が対象となります。

- ・会員が、町民もしくは町内勤務者で、6名以上（不特定多数は不可）
- ・営利事業ではない（塾も不可）（講師が代表でないこと）
- ・特定の政党・宗教団体に偏らない



町ホームページ
中央公民館グループ
登録団体について

詳しくは、町ホームページをご覧いただき、問い合わせください。

中央公民館主催講座のアンケート調査

中央公民館では、毎年定期的に教養講座を開設していますが、参加しやすい講座や、参加したくなる講座の開設に向け、アンケート調査を行うことにしました。講座開設に向けた参考にしますので、たくさんの回答をお願いします。

アンケートには、二次元コードからご回答ください。

【申し込み・問い合わせ】 中央公民館 ☎45-8446



講座開催についての
アンケート

私が関わっているケースの中には、保育園の年中の頃から相談がはじまり、成人（18）になつてからも相談を継続しているケースもあります。こういったケースが多いわけではありませんが、中学・高校を卒業した後、社会に向かっていくとなると、当然ながら、私たちスクールサポーターの心理職と、専門性だけではなく、分ではないことが多く出でています。例えば、年中から関わっている子どもが、19歳になつているとすれば、既に14年間の伴走を続けてきたことになります。すると、直接私ができることで必要なところにつないでいる、ということをしています。その中で必要なことをしてくれます。その中でつないだ先に丸投げするのではなく、よりそこと続けています。ある



長い付き合い

早期発見、早期対応といふ事は広く言われていますが、それを継続していくことが本来の本人の生活を支援していくことになります。困ったとき困ったと言えるようにすること、こうしたいけどどくのです。困ったときに困ったと相談できるスキルを持つこと、また相談できる場所や人などの環境をサポートしていくことも、小さい頃から関わることのできる

ケースでは、本人の希望によりちゃんと自分で勤めるために、就労支援という福祉サービスを使いながら、本人なりのペースで働くことから練習を始めています。そこには就労支援施設の職員の方、相談支援員さん、本人が相談できる同性の方、サポートマネージャー、福祉課など様々な方が関わっています。ある支援会議の時に施設の方が「これだけしっかりチームが組めているケースはなかなかないですよ」と感心している様子がありました。本人が何を困っているか、どうしたいかをちゃんと話してくれるので、それに対応しようと我々も動くことができるのです。



過去の『じこらぼ』は
町ホームページから
ご覧になります。

スクールサポーターの仕事の一つだといえます。「もう義務教育を卒業しているのだから、その人たちにつかないでいいじゃないか」と思われる方もいらっしゃるかもしれません。しかし、「チームの一員」としていることが、その子どもがへる出しやすい状況なのだと思います。すべてのケースが、このケースのようにうまくいつているわけではありませんが、1人でも多くの子どもたちが自分らしく生きていけるようにチームを作つてサポートしていく体制がある、ということを知つていただき、必要なときには相談をしていく、使えるものは何でも使えるという強さがあつても良いのかもしれませんね。（このケースに関しては、本人・保護者の了承を得て掲載しています。）